

いることから、本年度は7000セツトの販売を見込み、町内購買力の拡大と商業経営の活性化を図ります。

観光の振興

平成19年度から開始した地場産品の物産直売所の運営も5年が経過し、本年度は新築となつた販売施設を加え3棟での取り組みとなります。年々順調に直売会会員数、来客数および売上げ額を伸ばし、昨年度実績では会員数34人、来客数1万6000人、および売上げ額1700万円となっております。



通年での運営は今後も見込めませんが、低コストによる販売の拡大とアンテナショップとして、また豊頃町の物産紹介の場として、一層の努力に期待し、今後も支援してまいります。

また、本年度から新たに豊頃町物産の広報宣伝、紹介、斡旋および販路拡大と併せ、観光振興とも結びつけた中での各種イベントへの参加および十勝魅力発信プロジェクト推進会議等に参画し、札幌圏および首都圏での商品PR並びに物産販売に積極的に取組めます。

健康で心ふれあう まちづくり

我が国における少子化の進行は深刻な社会問題となり、長期的な展望に立った様々な取り組みがなされていますが、本町でも、安心して生み育て健やかに成長できる環境づくりをまちづくりの重要課題と位置付け、子育て支援の施策を推進しているところとす。

子育て支援の充実

子ども健やかな成長を図るため、豊頃町次世代育成支援行動計画に基づき、早朝・残児保

育、学童保育、一時保育、赤ちゃん広場・わんぱく広場、親子交流室開放などの子育て支援事業を「子どもプラザとよころ」で引き続き展開してまいります。

学童保育・一時保育については土曜日も開設するとともに、対象年齢を1歳程度に拡充して行っている一時保育は、高い利用状況であり、保護者の育児負担軽減を図るため、本年度も継続して実施します。

また、妊娠・出産・養育期における子育て世代が安心できる環境を整えるため、不妊治療への助成、妊産婦健診の無料化や中学校就学終了までの医療費無料化、小学校に入学する児童の家庭に入学祝金を支給するなど子育て支援を継続してまいります。

高齢者福祉・介護の充実

我が国は世界でも最高水準の長寿国となり、この傾向は本町においても顕著で、65歳以上の人口は1200人を越え、年齢

▽特集はじまります豊頃づくり

役場だより

保健の充実

疾病を早期に発見し、健康でいきいきと暮らせるよう、各種検診の実施と検診や予防接種料の助成を継続して行います。

また、高齢者の肺炎球菌ワクチンの接種は、65歳以上74歳以下の肺炎などの感染症にかかりやすく、重症になりやすい方および75歳以上の方を対象に接種費用の助成を行うほか、中学生から高校生を対象とした子宮頸がん予防ワクチンおよび4歳までを対象とした細菌性髄膜炎予防のためのヒブワクチンおよび7価肺炎球菌ワクチンの接種についても、道補助事業の拡充を図り無料で実施します。

医療の充実

豊頃医院、大津診療所および豊頃歯科診療所が医療機関としての役割を担っており、疾病の予防と医療サービスの提供に努めているところです。

平成23年度に豊頃医院に医用画像管理システムを導入するなど施設整備を行っています。今後も各施設、備品の計画的な整備を図るとともに、安定した患者輸送車の運行など町民が便利に安心して受診できる医療体制づくりを進めます。

躍動感あふれる人づくり

学校教育の充実と生涯学習の推進

学校教育においては、学力や体力の向上はもとより郷土を愛する心や人を思いやる心など豊かな人間性を育み、次代を担う子どもたちの健やかな成長が図られるよう、教育環境の整備充実に努めます。

また、町民一人ひとりが生涯を通していきいきと学び、生きがいを持って心豊かな人生を過ごすことができるよう、文化・スポーツの振興や生涯学習の推進、充実に努めます。特に、本年度建設する町民プールが、町民の健康増進と交流の場となるよう期待します。

今後、本町の教育資源である「報徳のおしえ」を礎とし、地域教育力の向上が図られるよう、教育委員会と協議し教育行政を推進します。

▽特集はじまります豊頃づくり

役場だより

育、学童保育、一時保育、赤ちゃん広場・わんぱく広場、親子交流室開放などの子育て支援事業を「子どもプラザとよころ」で引き続き展開してまいります。

学童保育・一時保育については土曜日も開設するとともに、対象年齢を1歳程度に拡充して行っている一時保育は、高い利用状況であり、保護者の育児負担軽減を図るため、本年度も継続して実施します。

また、妊娠・出産・養育期における子育て世代が安心できる環境を整えるため、不妊治療への助成、妊産婦健診の無料化や中学校就学終了までの医療費無料化、小学校に入学する児童の家庭に入学祝金を支給するなど子育て支援を継続してまいります。

高齢者福祉・介護の充実

我が国は世界でも最高水準の長寿国となり、この傾向は本町においても顕著で、65歳以上の人口は1200人を越え、年齢

▽特集はじまります豊頃づくり

役場だより

保健の充実

疾病を早期に発見し、健康でいきいきと暮らせるよう、各種検診の実施と検診や予防接種料の助成を継続して行います。

また、高齢者の肺炎球菌ワクチンの接種は、65歳以上74歳以下の肺炎などの感染症にかかりやすく、重症になりやすい方および75歳以上の方を対象に接種費用の助成を行うほか、中学生から高校生を対象とした子宮頸がん予防ワクチンおよび4歳までを対象とした細菌性髄膜炎予防のためのヒブワクチンおよび7価肺炎球菌ワクチンの接種についても、道補助事業の拡充を図り無料で実施します。

医療の充実

豊頃医院、大津診療所および豊頃歯科診療所が医療機関としての役割を担っており、疾病の予防と医療サービスの提供に努めているところです。

平成23年度に豊頃医院に医用画像管理システムを導入するなど施設整備を行っています。今後も各施設、備品の計画的な整備を図るとともに、安定した患者輸送車の運行など町民が便利に安心して受診できる医療体制づくりを進めます。



地域間交流の推進

従来から取り組んでいる姉妹都市交流、ふるさと会および誘致企業等との交流に関しては、これまでの人的交流と併せ、豊頃町物産の斡旋販売等を積極的に展開するとともに、札幌圏および首都圏イベント参加時のふるさと会との提携等知名度のアップと物産販路拡大とを組み合わせた地域間交流にも取り組んでいきます。

また、小学生を対象とする、相馬市・滑川市との少年親善使節団の相互交流を継続実施するとともに、国際姉妹都市であるサマーランド市への中学生派遣交流事業を行い、子どもたちの

また、在宅における独居高齢者、高齢者世帯および認知症高齢者等が安心して生活ができるよう、まごころ通信員の配置やひとり暮らし高齢者等見守り事業などを行うとともに、地域住民の方々の協力をいただきながら事故防止、孤独感の解消および閉じこもりの防止に努めます。

また、昨年開設しました「はるにれ友遊館」の有効利用も含め活動団体を支援し、就労場の充実を図ってまいります。

障害者福祉の推進

障害のある方が安心して暮らすことができるよう新たに平成26年度までを計画期間とする第2期の豊頃町障害者計画を策定しました。

また、昨年開設しました「はるにれ友遊館」の有効利用も含め活動団体を支援し、就労場の充実を図ってまいります。

本年1月に札幌市で発生した知的障害のある姉妹の孤立死が報じられておりましたが、本町においても他人事ではなく、決してこのようなことが起きないように、関係機関、団体との連携強化を図り、的確な情報管理と見守り体制づくりを進めながら、障害のある方が自立した生活を

住民参加によるまちづくりと職員の政策能力の向上

平成20年度に創設した豊頃町協働のまちづくり地域提案支援事業交付金制度により、地域課題解決に向けた住民の自主的地域活動を引き続き支援するとともに、行政課題に的確に対応する職員の政策形成や実務能力の向上を図るため、定住自立圏構想による帯広市との連携事業である人材育成職員研修事業に積極的に職員を参加させていきます。

また、広報・広聴の充実では、平成18年度から運用している現在のホームページを本年度において新たなシステムに更新し、町民の利便性を高めるため各種基本情報の充実を図るとともに、移住ページ、観光物産ページ、飲食店情報ページ等の内容を充実し、本町の情報を町内外に広く発信してまいります。

予算等についてのお問合せは、役場総務課財政係まで  
☎(574)2211  
☎(574)3750